

**国際交通・物流の研究**

教授 町田一兵

**1. 研究内容**

グローバル化が進み、国境を跨ぐヒト・モノの流れが急増し、それを支える交通の仕組みはますます複雑となった。講義科目である「国際交通論」は交通領域における一般的原理原則の理解を踏まえ、各交通機関の仕組みや関連諸産業の状況、それを組み合わせた交通サービスの構成、関連政策や他の産業との係わり合いなど、複数の視点による国境を跨ぐ交通の仕組みを明示し、理論及び現況の両面で交通インフラの重要性や特殊性、並びに各企業が行われる人流・物流活動の仕組みを解釈し、国際交通への理解を深めた上、ゼミ生の卒業論文の完成を指導する。

**2. ゼミの進め方**

《2年次》

春学期では交通・物流など関連する基本文献の輪読及び最新の新聞記事（英文を含む）を取り上げ、ゼミ生によるパワーポイントでのまとめ及び内容の議論を行う。秋学期では春学期の取り組みに加え、ゼミ生の個人やグループ希望による研究テーマを設定し、グループ単位の研究発表に取り組むことにする。その成果を持って、国内他大学との共同発表による合宿を2月ないし3月で実施する予定。

《3年次》

文献や論文の研究に加え、グループ単位で各自テーマを選んだうえ、ゼミ内バトルを実施する。課外活動として、国内交通関連施設の現場見学、企業や自治体に対する課題解決や提案などを予定する。その他、毎年3月に国内でのゼミ合宿及び夏休みの海外大学との交流や英語での合同発表を行う予定。

《4年次》

2・3年次に設定したテーマによる個人発表内容をベースに個人レベルにて卒業論文をまとめ、その概要を英語によるプレゼンを行い、期末までに卒業論文（日本語・英語のいずれ）の仕上げを指導する。

**3. 教材**

（白桃書房発行「交通研究のダイナミクス 転換期をとらえる視点」、文眞堂発行「一带一路の政治経済学」など）を使用する予定。

**4. 成績評価の方法**

出席状況（30%）、研究報告（30%）、ゼミの課外活動の参加状況（40%）を総合的に判断する。

**5. ゼミ入室試験（選考方法）**

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

**6. その他・志願者へのメッセージなど**

英語によるコミュニケーションに意欲的な方（現状の英語のレベルは問わない）や留学生を歓迎、交換留学生が参加することがある。また、より国際コミュニケーションに慣れるため、これまでゼミ単位で夏休みの海外提携校との交流や英語での合同発表を行ってきた。是非参加してもらいたい。なお、地図の活用や簡単な図表作成を行うため、ある程度エクセルが使える方を望む。

ゼミの授業を通じて、履修者一人一人におけるコミュニケーション力の向上、情報の収集能力・チームワーク力の向上を図ると同時に、ゼミ生が独立した考えに基づく研究テーマの設定／達成に向けた指導を行うため、チームワークでも単独作業でも責任もって対応できる方を望む。また、人数等によりゼミの進め方に変更が生じる可能性がある。

最後、授業の多くは一限目で行われるため、早朝のクラスでも欠席や遅刻をせずに授業に参加できる学生を希望する。これについてはかなりこだわるので、要注意。